



豊潮丸に乗船して 体験航海へ行きました！



木谷小学校では、児童が主体的に学び合い、「わかった、できた、よかった」を実感できる学校づくりを進め、家庭地域と協働・共育する、夢と感動あふれる学校をめざして日々、取り組んでいます。

今回は、地域の特性を生かした体験活動の一環として、広島大学の方々にご協力いただき「豊潮丸」に乗船して体験航海をさせていただきました。

総合的な学習の時間には、地域の特産物である「赤じゃが」や「牡蠣」の学習をしたり、特徴的な地質の「ホボロ島」や地域の歴史的な産業に関する「レンガ工業」について学習したりしています。自然豊かな地域性を生かした木谷小学校ならではの体験を通して、子供たちは日々、たくさんのお話を学んでいます。今回は、社会科の学習とも関連させて、貴重な体験をさせていただきました。



児童は最初に、船内での避難訓練と消火訓練を行いました。学校での避難訓練では校庭へ避難しますが、海上ではそれができません。海上にボートを用意し、避難すること、位置情報を送信し、救助を待つことを学びました。救命ボートが収納されているケースや、位置情報を発信する機器を実際に見て、理解が深まった様子でした。

また、乗組員の方々は乗船前にいつも避難の仕方と消火と消火方法について確認されていることを知り、命を守るための行動をいつもとっている乗組員の皆様の意識の高さを感じた子どもたちでした。

訓練後は2つのグループに分かれて船内見学とプランクトンの観察を行いました。船内見学では、操舵室やエンジンルームの見学をしました。

操舵室ではモニターに映った映像を見たり、実際に操縦席に座ったりして、とても貴重な体験をすることができました。たくさんのモニターとスイッチがあることにとても驚いた様子でした。

エンジンルームでは、エンジンが稼働する音の大きさと熱に圧倒されました。エンジンの不調は手を近づけた際の熱で判断できるという熟練の技にも驚いていました。



プランクトンの観察では、実際にプランクトンを捕獲する網を沈め、引き上げたのちに観察をさせていただきました。プランクトンには植物プランクトンと動物プランクトンの2種類あることを教えていただきました。

顕微鏡をのぞくと、元気よく動き回る動物プランクトンを観察することができました。目には見えないプランクトンが水中を動き回っている姿を目の当たりにして、体験を伴った理解ができました。

最後には、牡蠣がプランクトンを食べて水がきれいになる様子を確認し、生物のもつ力の大きさを感じました。



子どもたちは貴重な経験を通じて知識を得ただけではなく、協力してくださった方々への感謝や、公共道徳などについても多くのことを学ぶことができました。豊潮丸の皆様、この度は貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、木谷小学校の特色を生かした学習活動がより充実したものとなりました。